

2022年度教育研究活動報告書

所属	人文学部 人文学科	職名	教授	フリガナ 氏名	サカモトマサヤ 坂本昌弥	生年月	1965.5
最終学歴	鹿児島大学大学院後期博士課程人文社会科学研究科			学位	博士(学術)	専門分野	理科教育学・地球物理学
担当科目	理科教育法, 理科, 理科演習 I・II, 環境学, 生命と進化論, フレッシュマンゼミ, 教職実践演習						
所属学会	日本理科教育学会, 日本地学教育学会, 日本地質学会, 日本火山学会, 阿蘇学会(理事, 2018~2023), 鹿児島県地学会, 仮想実験授業研究会						
I 教育活動							
教育実践上の主な業績				年月日		概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)							
ICT 機器を活用した講義の実践				2018年4月~2023年3月		電子黒板, タブレット, 携帯電話等を用いて, 講義内容を理解しやすくするための実践・研究の実施	
教職を目指す学生に必要なプログラミング教育(理科教育分野)の教材開発				2018年4月~2023年3月		理科教育分野におけるプログラミング教育の実践的教材開発とその効果測定の実施	
2 作成した教科書, 教材, 参考書							
小学校教育実習等の手引き				2022年3月		(著者名:坂本昌弥・緒方宏明・栗原和弘)教育実習に係る法的根拠, 実習の全体像, 実習の意義, 具体的な実習の種別, 心がまえ, 態度, 学習指導案の作成法や ICT 機器の活用及びその教育法について記述した。(執筆担当部分: 第 I 章~第三章, 及びIV・V・VI章の一部)	
3 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等							
令和元年~令和3年度教員免許更新講習講師				2021年8月20日		講習テーマ:「科学的思考力を育成する幼児・児童教育」 概要: 幼児及び児童教育の中で「科学的思考力」を育成することの必要性を述べ, また国際比較や諸外国における理科の実態から, 今後期待される幼児・児童教育のあり方について述べた。	
4 その他教育活動上特記すべき事項							
KLC 授業の進め方【遠隔授業の振り返り】				2021年3月4日		Moodle, Active Academy, Zoom 会議等による授業の振り返りと 2021 年度への提言を行った。	

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は発表の 年月日	発行所又は発表雑誌等の 名称（巻・号数を含む）	編者・著者名（共著 の場合のみ記入）	該当ページ数
1 著書					
2 論文					
指定文化財が持つ教材としての価値と活用について	単著	2022年8月	鹿児島地理教育, 15		pp.12-13
実践的指導力を育成する 教職実践演習 ～教職履修カルテのあり方 と活用について～	単著	2021年8月	VISIO, 51		pp.61-66
理科への接続を意識した小 学校生活科教育法 —地球分野の教材開発—	共著	2021年12月	VISIO, 52	坂本昌弥・久保幸貴	pp.107-116
教職実践演習における防 災教育の位置づけと展開 ～教師力・指導力向上を目 指して～	単著	2021年12月	心理・教育・福祉研究, 21(1)		pp.13-23
指定天然記念物を教材とす る理科教育の展開 ～地域に存在する教育資 源の活用～	単著	2022年3月	心理・教育・福祉研究, 21(2)		pp.43-52
3 その他					
火山ガス・噴煙の大気 拡散と環境影響	共著	2022年6月	環境と測定技術, 49(5)	坂本昌弥・木下紀正	pp.23-32
III 社会的活動					
年月日	委員, 講演テーマ・研修会, 賞・表彰等の名称			所属, 委託団体, 授与機 関等の名称	
1 職務専念義務免除による活動 2018年4月～現在	阿蘇学会理事及び研究紀要編集委員長			阿蘇学会	
2 公開講座, 講演, 研究会活動 2021年10月～2023年3月	2021年度公開講座「第3回親子サイエンス大実験カレッジ」 [Web公開]			地域連携推進センター	
2021年10月～2023年3月	2021年度公開講座「KLC 学内樹木探訪」 [Web公開: 共催 ニッセイ緑の財団]			地域連携推進センター	
3 社会的表彰					